

令和5年度 第三善隣館 事業報告

第三善隣館設立の精神に則り、小地域福祉活動の果たすべき役割を実践する。常に地域の福祉ニーズに応え、民間福祉事業の先駆的取り組みを行う。

今年度事業実績は下記の通りである。

記

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 1、理事会の開催 | 5回（ 6/6 、6/23 、11/27 、3/1 、3/19） |
| 監事監査の実施 | 令和5年6月1日 |
| 評議員会の開催 | 4回（ 6/23 、12/11 、3/11 、3/24 ） |

2、第三善隣館施設設置経営

- ・味噌蔵福祉センター
福祉ボランティア活動の拠点として設置、活動。
味噌蔵校下住民の理解と協力を得て運営。
- ・愛育保育園
児童福祉における保育目標を掲げ、経営。
少子化の中で安心して子供を産み育てることが出来る環境作りに資する。
- ・愛育保育園一時預かり事業
保護者の仕事や通院などの理由により一時的に保育に欠ける乳幼児を預かる。
- ・デイサービスセンターさつき苑
介護保険の制度目標に従って経営。
- ・味噌蔵児童クラブ
放課後児童の健全育成に資する。
週休2日制に対応する。
- ・第三善隣館居宅介護支援センター
介護保険の制度目標に従って経営。

3、その他

- ・第三善隣館ホームページの設備

味噌蔵福祉センター 令和5年度事業報告

事業目的

地域福祉活動の拠点として、活動の場を提供する。常に地域のニーズを把握し、地域福祉推進の視点でそれに応える。

事業内容

1. ふれあい広場（地区社会福祉協議会協賛）第1第3（木）
友愛のつどい一針運動と合同
2. ふれあい体操サロン（地区社会福祉協議会協賛）第1、3（月）
友愛体操と合同
3. 心配ごと、困りごと相談（平日10:00～16:00）
4. 福祉バザー協賛 5月28日（日）
・ミニバザー協賛 7月18日（火）～31日（月）
5. 福祉センターを拠点として活動する団体の活動支援
 - ①味噌蔵地区社会福祉協議会 地区敬老会 9月15日（金）
 - ②味噌蔵地区民生委員児童委員協議会
 - ③まちぐるみ福祉活動推進委員会
 - ④味噌蔵ボランティア友愛のつどい 第1、3（木）配食サービス
 - ⑤味噌蔵银杏の会（旧味噌蔵長寿会）第2（火）
 - ⑥味噌蔵地区各サロン活動（地域、麻雀、喫茶、朝市、体操）（月10回）
 - ⑦味噌蔵子育てサロン 第3（水）
 - ⑧ 移動スーパー見守り事業（月4～5回）
 - ⑨ 石川県共同募基金会味噌蔵地区分会（10月～12月）
6. 貸し館業務
 - ①練功・太極拳体操（毎週金曜）
 - ②味噌蔵地区地域福祉団体
（社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、まちぐるみ福祉活動推進委員会
味噌蔵ボランティア友愛のつどい、味噌蔵银杏の会 他）
1ヵ月 利用者数 250名
 - ③第三善隣館施設使用
 - ・味噌蔵児童クラブ 毎日（大ホール、A室）、随時 和室
 - ・愛育保育園 月2～4回（大ホール）、随時 リモート研修（1階会議室）会議（1階会議室）
 - ・デイサービスさつき苑 月1回（1階会議室）、随時 リモート研修（1階会議室）

職員体制

センター長 戸田 眞一郎
事務職員 庄田 光代

令和5年度事業報告

デイサービスセンターさつき苑

事業目的 在宅の要介護等老人を日中預かり、利用者の社会的孤立感の解消および心身の機能維持回復を図る。また、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

運営方針 利用者の人格を尊重し、常にその立場にたったサービスの提供に努める。
地域との結びつきを重視し、介護保険の目的にしたがって運営する。

利用定員 1日 通所介護及び介護予防通所介護 32名 総合事業(基準緩和)2名

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、サービス付き高齢者向け住宅(白寿園など)からの利用者の受け入れができなくなり、また、新規の申込みも少なく、利用者減となった。

- 事業内容**
- ・生活指導(相談援助等)
 - ・機能訓練(生活動作訓練)…生活機能、身体機能、口腔機能の維持向上、
運動マシンの導入
 - ・介護(移動や排泄の介助、見守り等のサービス)
 - ・健康状態の確認、健康管理、連絡
 - ・集団レクリエーション(ゲーム、歌、おやつ作り、園芸など)
 - ・個別レクリエーション(麻雀、囲碁将棋、手芸など)
 - ・社会交流の場の提供
 - ・送迎サービス
 - ・給食サービス
 - ・入浴サービス(一般入浴、特殊入浴)
 - ・介護予防通所介護
 - ・基準緩和型通所介護

職員体制

苑長及び管理者	大浦智恵美
苑長補佐	塩野 麻美
看護師	徳坂 静江 (非常勤看護師登録 2名)
作業療法士	大谷 昌子
介護職員	山本久美子 他1名(非常勤職員登録 8名)
生活相談員、事務員	奥村佳代
調理員	伊藤亜希(非常勤登録2名) 運転手 2名(非常勤登録4名)

事業実績 開設日 295 日
利用登録者 40 人(令和6年3月31日現在)

	利用述べ人数
総合事業	91
要支援	423
要介護 1	1,667
〃 2	1,814
〃 3	181
〃 4	276
〃 5	68
合計	4,520

前年度
4,133

ボランティア活動状況 さつきの会、その他
活動延べ人数 300 人

令和5年度事業報告

愛育保育園（一時預かり事業含む）

事業目的 児童福祉法に基づき、保護者の労働又は疾病等の理由により、保育に欠ける乳幼児を保育し、社会性を培うと共に、健康で情緒豊かな子どもを育てることを目的とする。

事業内容 平常保育（AM7：00～PM6：00）、延長保育（PM6：00～PM7：00）
休日保育（AM8：30～PM5：15）、一時保育、異年齢保育（縦割り保育）

家庭学級（保護者会…クリスマスプレゼント、子ども夏祭り援助、卒園文集作成、絵本センター管理など）

保育目標

- ☆ 健康でこころ豊かな子ども
- ☆ なかよく遊べる子ども
- ☆ 自信と勇気ある子ども

保育方針

からだの丈夫な子ども
よく見・よく聞き・よく考える子ども
いきいきと表現する子ども
みんなと一緒に協力して遊ぶ子ども

(基本的な生活習慣を身につけ、進んで体力づくりをする。)
(経験を通し自分の周りにあるものを、正しく認識する。)
(人の話が解り、自分の考えていることを人に伝えたり、描いたり作ったり歌ったり創造する喜びがわかる。)
(集団生活に必要な決まりを理解出来、自分から関わることができる。)

職員体制

園長 宮村志利
主任保育士 入江望
保育士（正規） 5名（内、1名育休明け《9月より》・調理員兼務1名《11月より》）
"（常勤） 2名
"（非常勤） 5名
保育補助（非常勤） 1名
栄養士（正規） 2名
調理補助（非常勤） 3名
事務職員（正規） 1名

行事報告	月	行事内容
	4	入園式、デイサービス訪問（中止）、お花見（年長児）
	5	幼保小連携推進事業（年間通し）・近江町食べ物の絵コンクール・親子遠足
	6	内科検診・歯科検診、保護者1日保育参加（2～5才児）、兼小小学校1年生年長児交流授業（年数回）、花育（花苗植え）・プラレールの遠足
	7	七夕会、プール開き、子ども夏祭り
	8	プール遊び、情操教育（第1回）
	9	運動会、出張環境局、情操教育（第2回）、グタイ染体験、地域の敬老会（福祉センター主催）
	10	特別支援学校交流（年3回）、芋ほり遠足、歯科検診、情操教育（第3回）
	11	表現会（2.3.4.5才児）交通安全教室、消防署訪問、火の用心防災、花育（花苗・球根植え）、内科検診
	12	クリスマス会
	1	こども新年会、年長卒業記念教室（加賀友禅親子体験）
	2	節分会（各クラスにて）、年長修了写真撮影
	3	ひなまつり会、お別れ会食会、修了式、お別れレクレーション（以上児）児童クラブ合同交流会（年長児）

※毎月の行事：誕生会、体育教室、英語教室、避難訓練、夢ステーション

※情操教育（唱歌を学ぶ教室）

事業実績 開所日 350日開所（5/5、7/17、9/18、10/29、11/12、12/31～1/3、2/23、3/17 休園）

※（R6.1/5～1/8 臨時休園…地震の為、点検・修繕）

在籍人数 52名（令和6年3月31日現在）

一時預かり事業 1名（6日預かり）

令和5年度事業計画 報告書

味噌蔵児童クラブ

事業目的 小学校低学年の児童を対象に預かり、様々な家庭の異年齢の子どもたちと、活動や遊びなどを経験することを目的とし、健全な児童の育成に努めながら生活の規律をも同時に身に付けていくことを、ねらいとする。

運営方針 異年齢の仲間と遊びや行事、活動を通して、ルール・社会性・自信・安心を得、自分を大切にし、人も大切にできる子どもを育てる。第2の家庭として、暖かい雰囲気子どもたちと接する。

事業内容 ◎1日の流れ
下校（放課後）～3：30・・・着替え、宿題、本の読み聞かせ等
3：30～4：00・・・おやつ（手作りおやつ、誕生日リクエストおやつ・・・）
4：00～6：30・・・自由遊び、随時帰宅
土曜日は9：00～4：00、長期休みは9：00～6：30

行事報告

4月	お祝いの会、お花見お散歩 避難訓練	10月	共同募金街頭募金活動（中止） ハロウィンパーティー
5月	こどもの日パーティー バザーのPOP作り トマトの苗を植えよう	11月	勤労感謝の日プレゼント（防災ストラップ） おいもパーティー
6月	氷室饅頭を食べよう	12月	クリスマス会
7月	七夕、防災教室、避難訓練	1月	新年会（ビンゴゲーム）
8月	夏休みお楽しみイベント 県立図書館へ行こう、映画館鑑賞	2月	節分パーティー バレンタインプレゼント作り（イチゴ大福）
9月	手作りおやつ（フルーツポンチ）	3月	ひなまつりパーティー 防災教室 避難訓練

運営委員会 運営委員長 恒川 學立
運営委員 山岸 茂義 外山 郁生 野田 大介 山口 初美
中山 稔 畝田 育子 池上 悦子 大谷 昌子

職員体制 主任指導員 浦山 佳奈
指導員 小中 里奈
指導員補助 木越 夕美香 安地 雅美 森坂 奈々 他、学生アルバイト数名

登録児童数 25名（R6.3 現在）

令和5年度事業報告

第三善隣館居宅介護支援センター

事業目的 利用者に対し、居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活が送れるようケアプランを作成する。また、そのプランに基づいて適切なサービスの提供が確保されるよう連絡調整する。

運営方針 利用者の人格を尊重し、常にその立場にたったサービスの提供に努める。地域との結びつきを重視し、介護保険の目的にしたがって運営する。

事業内容 ケアプラン作成と連絡調整等
認定調査(金沢市委託)

職員体制 管 理 者 寺井 多恵子(介護福祉士)
支援専門員(専任) 寺井 多恵子(介護福祉士)
支援専門員(兼任) 大浦 智恵美(介護福祉士) 、小倉紀美枝(介護福祉士)

事業実績 開設日 295 日 開設日以外にも電話での対応は行なっている。

介護度	ケアプラン作成件数(年間延べ)
要支援	175
要介護1	138
〃 2	193
〃 3	60
〃 4	65
〃 5	16
合 計	647

(前年度 655件)